

4 令和6年度に実施したその他の重要な取組

1 部活動地域連携・地域移行に関する事業【教育総務課・学校教育課・社会教育課・文化スポーツ課】

令和4年6月及び8月にスポーツ庁や文化庁の有識者会議において、部活動を生徒と教員の双方にとって望ましく、持続可能なものにするために、地域に移行していくことを受け、市教育委員会では、懇話会を設け市内の部活動の実態把握やアンケートによる教職員や生徒の意見聴取などを行ってきた。

令和6年度からは、「富士市立中学校部活動地域移行協議会」を立ち上げ、望ましい地域クラブ活動の在り方を示す基本方針の策定に向け、協議を続けている。

また、休日の部活動を地域連携・地域移行化していくための実証的モデル事業として、スポーツ活動で4種（野球・剣道・ハンドボール・サッカー）、文化芸術活動で2種（吹奏楽・各種文化芸術活動）の事業を実施し、課題を洗い出すための取組を行った。

令和7年度は本市基本方針の策定に向け、協議会を定期的に開催し、保護者代表、学校代表等、関係部署や関係団体から意見聴取するとともに、引き続き各種競技団体や連盟と連携、調整を図りながら、部活動地域連携・地域移行を進めていく。

2 公立高等学校の在り方に係る地域協議会【教育総務課】

県教育委員会は、「静岡県立高等学校第三次長期計画」に基づき、また、静岡県の地域教育を取り巻く状況変化や課題等を踏まえ、県立高校の在り方について検討を進めている。

令和4年度に「静岡県立高等学校の在り方検討委員会」が設置され、これに並行して、関係地域の自治体の長、市町教育長、産業界代表、地元中学校・高等学校のPTA代表等から意見を伺う場として各地域に「公立高等学校の在り方に係る地域協議会」が立ち上げられた。

富士地区では令和5年度に協議会が始まり、地域の現状の再確認、求められる教育内容、学びの質を確保するための学校の体制等について協議された。

県教育委員会は協議会で必要な情報収集の一環として、中学3年生保護者・生徒等を対象とした「高校選びに関するアンケート」や、小学校保護者を対象とした「高校選びに関する御意見を伺う場」を開催した。市教育委員会も、各学校へのアンケート協力の呼びかけや対象校への開催要請などに応じ、協議会が円滑に進むよう協力してきた。

第4回協議会では、県教育委員会から富士地区のグランドデザイン（案）が打ち出され、その中で「令和15年度までに、富士市は現在5校ある公立高校を3校に、富士宮市は現在4校ある公立高校を2校として適正規模の公立高校に集約」と、今後の再編整備の方向性が示された。この再編整備は県立高校を対象とするものだが、市立高校の学校運営の在り方にも大きな影響を与えることが予想される。

県教育委員会は、令和7年度中の富士地区のグランドデザイン完成を予定している。今後も市立高校、関係部署や関係団体と情報共有を図るとともに、協議会の動向を注視していく。

3 若者相談窓口「ココ☆カラ」の運営【青少年相談センター】

平成27年4月に若者相談窓口を開設し、同年11月から若者相談窓口「ココ☆カラ」として、ニート・ひきこもり・不登校等の困難を抱える子ども・若者やその家族の支援に取り組んでいる。

令和6年度は、新規相談件数91件、継続相談件数899件の相談があった。前年度に比べて新規18.0%の減、継続22.6%の増、合計17.3%の増となった。

相談・支援活動としては、相談者に適切な支援機関を紹介するなど、教育プラザを居場所として多様な体験活動等を通して自己肯定感や自信を養うとともに、就労に向けた支援を継続的に行った。窓口に来ることが困難なケースには、アウトリーチを実施し、加えて、静岡方式と呼ばれる伴走支援等相談者一人一人の状況に合わせきめ細かな支援を行った。

令和7年度も引き続き、関係団体との連携を深め、予防的な観点から中高生等にアプローチしたり、高校を訪

問して校内居場所カフェを設置し、気軽に相談に乗る機会を作ったり、若者に対する支援者（サポーター）を増やすなどしながら、相談者の支援に当たっていく。

4 放課後子ども教室×少年教育講座【社会教育課】

令和6年度から、放課後に各地区のまちづくりセンターや小学校等を会場として、民間団体や地域の人の参画を得て、スポーツ、文化活動等の多様な体験活動や地域住民との交流活動、学習機会等を提供した。また、子どもの「居場所づくり」とともに、既に少年教育事業などで実施している体験学習などの「教育要素」を盛り込んで実施した。令和7年度も引き続き、本事業を拡充して実施していく。

5 はぐくむF U J I 出会い応援事業【社会教育課】

少子化対策の一環として、青年層の婚活支援及び出会いの機会を創出するため、富士市の豊かな自然が現存する丸火自然公園、丸火少年自然の家及び青少年の家において、体験型の婚活イベント「ふじさん×ナチュラブ」を実施した。また、婚活のスタートアップ講座として「出会いのカフェタイム×印象アップセミナー」を実施した。コミュニケーション等の座学講座と、実践的な婚活活動を体験することができる場を提供し、参加した青年層は婚活のファーストステップをスムーズに踏むことができた様子だった。

6 竪穴式復元住居の茅葺き屋根修繕共同作業【博物館】

はぐくむF U J I こども未来パッケージ事業のうち、出会い応援事業として、「茅葺古民家満喫プログラム〜かまどでご飯と差し茅交流会〜」を実施した。この事業は、広見公園ふるさと村内の「竪穴住居」の屋根の修繕及び県指定文化財「旧稲垣家住宅」におけるかまど飯作りを若者が共同で行い、併せて出会いの場を作ることを目的とするもので、男性7人、女性3人が参加した。

本事業の魅力は、県内でも数少ない茅葺き職人から茅葺き作業について直接指導を受けられることや、古民家での薪割りや羽釜での炊飯体験により炊き立てのご飯を味わうことができることにある。令和7年度も引き続き、本市所有の文化財等を活用した事業に重点をおきつつ、出会い応援や移住定住も視野に入れた事業を開催する。